

鉄作り体験 先人へ思い

大原小
6年生

一
関

一関市大東(菊池正人校長、児童10
町の大原小10人の6年生21人は11日、



同市大東町内野地区の砂鉄川たたら製鉄学習館で昔ながらの鉄作りを体験し、鉄産地の歴史文化に理解を深めた。

旧内野小から続く活動で22回目。たたら製鉄の伝承に取り組むホッパの会(勝部昌平会長)が指導した。

児童は8月に砂鉄川で採取した砂鉄と木炭を、炎を上げ内部が1200〜1300度にもなるたたら炉に投入。その後、炉を解体し、鉄の塊を取り出した。

砂鉄を投入した芳賀光我君は「炉はとても熱く、満遍なく入れることが難しかった。昔は大変な作業をしていた」と先人の苦勞を実感していた。

鉄は来年2月に奥州市の製造会社で文鎮に成形し、卒業記念品とする。

炎を上げる炉に砂鉄を投入する大原小児童

鉄作り体験 先人へ思い

大原小
6年生

一
関

一関市大東(菊池正人校長、児童10
町の大原小10人)の6年生21人は11日、



同市大東町内野地区の砂鉄川たたら製鉄学習館で昔ながらの鉄作りを体験し、鉄産地の歴史文化に理解を深めた。

旧内野小から続く活動で22回目。たたら製鉄の伝承に取り組むホッパの会(勝部昌平会長)が指導した。

児童は8月に砂鉄川で採取した砂鉄と木炭を、炎を上げ内部が1200〜1300度にもなるたたら炉に投入。その後、炉を解体し、鉄の塊を取り出した。

砂鉄を投入した芳賀光我君は「炉はとても熱く、満遍なく入れることが難しかった。昔は大変な作業をしていた」と先人の苦勞を実感していた。

鉄は来年2月に奥州市の鑄造会社で文鎮に成形し、卒業記念品とする。

炎を上げる炉に砂鉄を投入する大原小児童